

'89 春山合宿

報告書

'89.4.29 ~ 5.3

谷川岳連峰

CL	町田	修
SL	金子	清
記録	伊藤	隆文
記録	大坂	康裕
装備	板倉	英夫
食糧	窪原	敏子
会計	右田	工リ

春山合宿反省

行く先々で車の窓から中央道では中央南アルプスが良く見える。

諏訪辺りではハヤ岳、そして南アルプス北部甲斐駒ヶ岳、鍬岳、銀岳が白く大きい。又富士山が遠くから見える。ハヤ岳東面と東に奥秩父金峰、瑞ヶ岳山を望みながら北上すると正面に白く下りかなる浅間山が現われる。

佐久利、18号を東に向くと碓氷峠、妙義山の奇妙な山形で車窓の景色が綺麗。高崎に出ると北に榛名山、東に赤木山、そして関越自動車道、右前方に武尊山が見え目指す谷川連峰が北に白く下りている。

いつもの北アルプスの道中と一味が違い谷川岳への期待がさらに大きくなる。近づく谷川岳天神尾根上部は真白で積雪の多さが予想された谷川岳のふもと土合、口スキー場まで綺麗である。

西黒尾根からは東に千ヶ沢、一倉尾根を経て一倉沢上部の岩壁が良く見える。西の天神尾根はスキー場の音響が流れる春スキーのお宝である。ズリッとした岩稜の西黒尾根は多少緊張感と展望を私たちに与える退屈させにくく美しい。看の小屋南西面の一部雪消えた草地カテシ場、両雪、稜線歩き最後に法師の温泉とふたが小川の詳細はメモの記録を参照したい。

今山行を振り返り反省してみると計画立案から参加者募集、早期役割決定と準備を整え山つろぎは順調に進んだ。

山行中は体力の差を各自が自覚して荷物も相応にかかった。しかし体力の差からくるペースの行動力は弱く又スピードが欠ける。基本的に体力アップと体の調整は今後の山行に期待しよう。

天気が良ければ尾瀬沼にも行きたかったが、やはり欲はった計画であり、又また柴火を残した良かったと思う。

遠距離の車使用(2台以上)の場合トランシーバーの効力が非常に大きい。特に地形に不案内であれば、渋滞時など情報交換もつかに行い有意義な移動ができた。

谷川岳は遠く簡単に行く所ではない。しかし復習して今山行を各自自らの物とした。

以上所白

行動記録

4/29 テンソ-駐車場 $\frac{\text{車}}{7:25 \quad 18:00}$ 工合上 駐車場

清里、軽井沢などのリゾート地を横目に谷川岳へ。高速はそれほど混んでおらず、また中央アルパス、南アルパス、ハッ岳、浅間山、富岳、妙義山、赤城山等の眺望を楽しむことができた。谷川岳登山センターへ、倉沢出合間は雪の為通行止になっており、工合駅の上の駐車場でテントを張った。焼肉パーティーで精力をつける。

4/30 駐車場 $\frac{\text{西黒尾根途中}}{8:10}$ $\frac{\text{---}}{9:10 \quad 9:15}$ $\frac{\text{---}}{10:40 \quad 11:05}$

$\frac{\text{---}}{12:00}$ 谷川岳頂上 $\frac{\text{---}}{12:30}$ 肩、小屋下 $\frac{\text{---}}{12:40}$
(トマの耳)

天気は快晴で絶好の登山日和である。西黒尾根は最初樹林帯で展望がまかひかたか。登るにつれて、倉沢の岩壁、衝立岩の姿を現わした。すぐ右下のマチが沢を登る人も2人いて、よくあんな急斜面を登るものだと感心した。谷川岳頂上は人が多く、ロープウェイのある天神平方面から登る人が多々。よほどテントに入り天気圏をとると、低気圧が九州西にあり、明日の天気は心配だ。

報告者：天天

5/1 4時起床

谷川岳肩小屋下 — オジカ沢ノ頭 — 万太郎山
5:40 6:40 7:00 9:20

— 仙ノ倉山 (途中数回休憩有)
9:40 13:40

予想通り、今日は天気が悪く、朝起きるとガスで何も見えない。オジカ沢ノ頭を越えた回りに、ミズレまじりの雨が降りだした。途中避難小屋が3つくらいあり、中には東京オリンピックの年に設置された古いものもあった。雪が入り込んで扇が開かないものを除けば、一晩くらいしかたそうである。万太郎山に着く頃、段々冷え込んで雪に変わった。昼少し前くらいには、少し晴しかけたか、またかすってしまい、谷川岳連峰、最高峰の仙ノ倉山では何も見えなかった。

〒
〒

NO.			
作成	年	月	日
	部		課

春山合宿小行記録

配布先	

5/2 4時起床

仙倉山小頂 6:00 - 6:40 平標山 7:00 - 7:25
 平標小屋 7:50 - 8:50 太源太下の分岐 9:05 - 10:05
 三国山下 10:15 - 10:25 三国峠 10:40 - 12:00 法師温泉

所見

朝起きてテントから顔を出すと、辺り一面が雪の中。クマザサはうっすらと白く積っている。

楽しみにしていた仙倉からの眺めは見小なくて残念だが、法師目差してあとは一気に下りるのみ。

平標小屋では御主人からお茶を戴く。こちらは例年より2~3メートル雪の積らないとのこと。

そこから太源太山を巻いて三国山に向う。とら。太源太山へ向けてしまふ。足を痛めている人もいて、むしろ慎重にルートを行くべきと反省する。

三国山からは雪は消え、快調に下る。三国峠ではパンフレットと同じ石碑をバックにみんなで一枚。

三国峠から法師温泉へは下り下りのみだが案外長く肩に食い込んだバックが痛い。

温泉では右田さんの指導により一本目1時間、二本目1時間半、三本目40分位と効能を体一杯に浴びる。木の造りと石の敷き詰めである。70と川のせせらぎがなるともいえずいい気分にしてくれる。

経路
作成部署
報告部署

保管
原紙
写
年

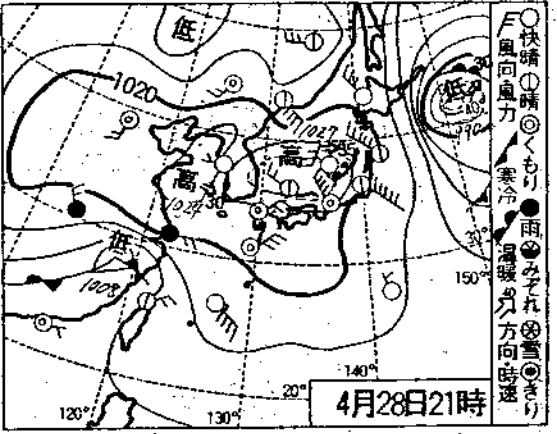
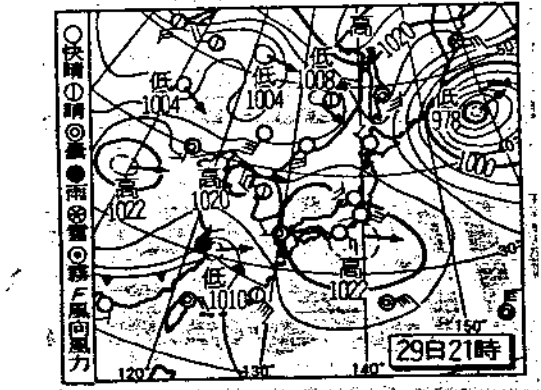
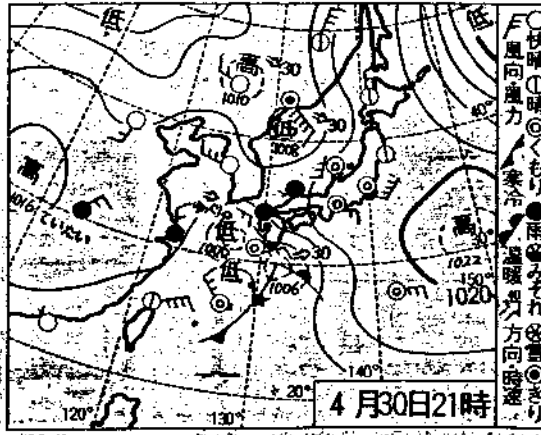
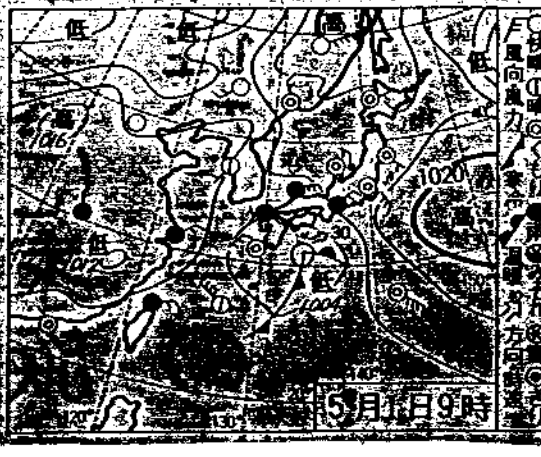
承認
検討
作成 板倉

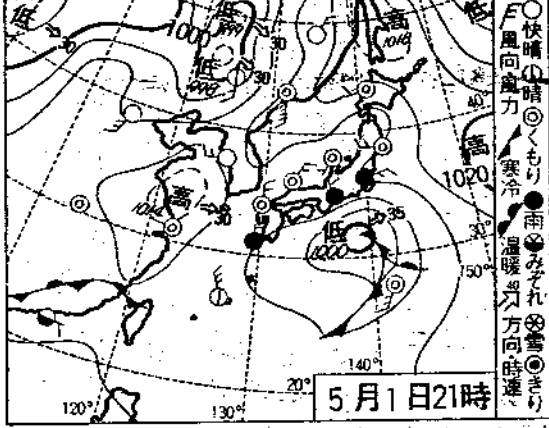
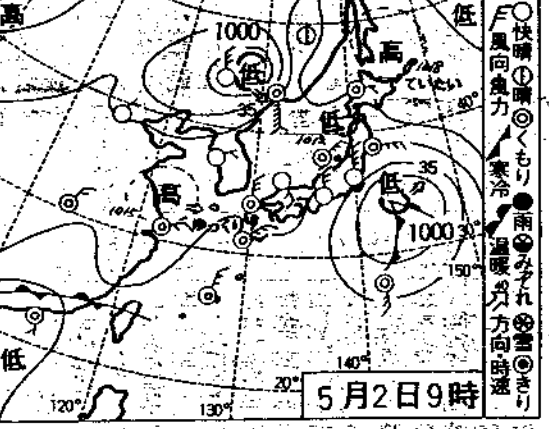
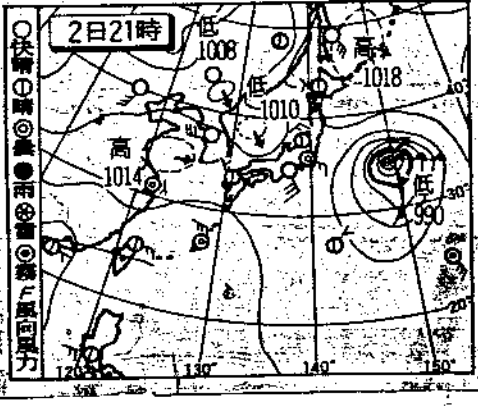

5/3 法師温泉 — 土合駅 — 刈谷
9:20 152 13:00

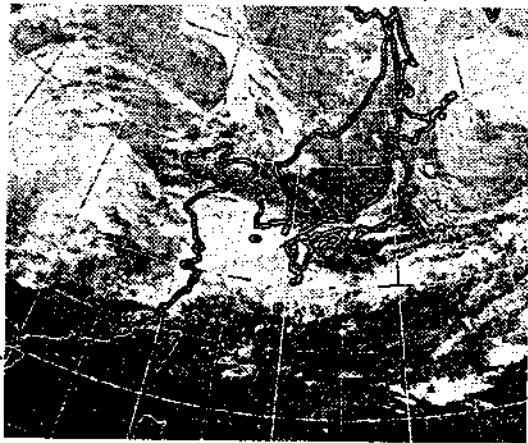
昨日温泉でのんびりした後、今日は尾瀬
へ向う予定であったが、天気かあまり良くな...の下
帰りに此にする。今日から連休に入るとは多...の下、
道路は大変混んでいて、国道・県道は避けて
峠越えのドライブを楽しんだ。

報告者：大天

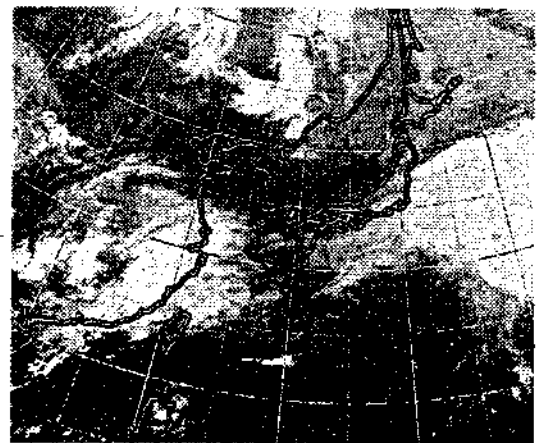
春山合宿 気象記録

月/日	行動	気象	天気図
4/28	/	/	 <p>4月28日21時</p>
4/29	<p>7:25 ND駐車場焼 中央アリス・南アリス ハツ岳・浅間山等 少しかすみがかか いたかよく見えた 18:00 土合上駐車場 焼肉パーティー</p>	<p>① 初動にはおかし な、良、天気</p> <p>① さすかに谷川岳の 麓まで来ると夜は冷 え込む。</p>	 <p>29日21時</p>
4/30	<p>6:40 出発 8:10 西黒尾根途中 スパッツ着 12:00 谷川岳頂上 小屋の下でテ を張る。</p>	<p>○ 快晴 暑いくらいの陽気</p> <p>① 少しづつ 高層雲 が現われる。</p>	 <p>4月30日21時</p>
5/1	<p>5:40 出発 6:40 オシカ沢頭 7:15 カッパ着 9:20 万太郎山</p>	<p>◎ が入、ていて眺望 がまかぬ。</p> <p>● ミツレが降り、は たかやいほど寒く はない。(12℃)</p> <p>⊗ 冷え込んできた。 (0℃) 南寄りの風が強い。</p>	 <p>5月1日9時</p>

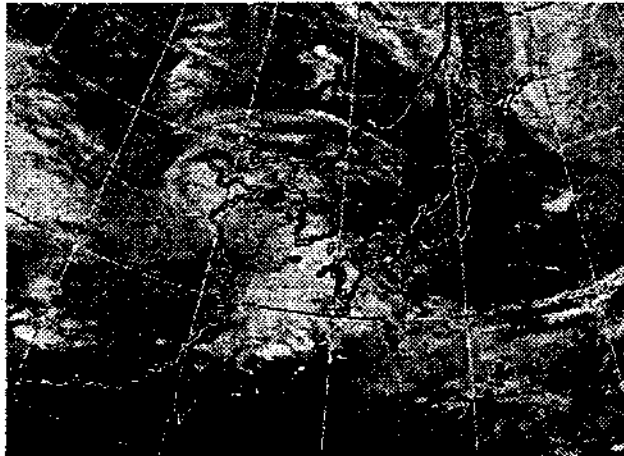
月/日	行 動	気 象	天 気 図
5/1	11:15 カッパ脱 13:40 仙倉山 頂上を北側に 少し下下所でテント 張る。	◎ 雪が止み太陽 が少し顔を見ぬ。 ⊗ ガスして何も見ゆ 寒い。 東寄りの強風で テントあおられる。	 <p>○快晴 ◎曇り ●雨 ⊙みぞれ ⊗雪 ◎まじり 〻風向 〻風力 〻寒冷 〻温暖 〻方向時速</p> <p>5月1日21時</p>
5/2	6:00 出発 6:40 平標山 10:30 三国峠 11:50 法師温泉 温泉でのんびり 疲れをいやす。	◎ 相変わらず風強 がスている。 ◎ 三国山の方面 が少し晴れたが すぐ雲の中へ。 ◎ 宿の前の葎が 満開だった。	 <p>○快晴 ◎曇り ●雨 ⊙みぞれ ⊗雪 ◎まじり 〻風向 〻風力 〻寒冷 〻温暖 〻方向時速</p> <p>5月2日9時</p>  <p>○快晴 ◎曇り ●雨 ⊙みぞれ ⊗雪 ◎まじり 〻風向 〻風力 〻寒冷 〻温暖 〻方向時速</p> <p>2日21時</p>
5/3	9:20 出発 (バス) 12:00 土合駅 尾瀬行を中止 にして 帰ることに する。	◎ ◎ → ● 雨の降出し 時折強く降る。	 <p>○快晴 ◎曇り ●雨 ⊙みぞれ ⊗雪 ◎まじり 〻風向 〻風力 〻寒冷 〻温暖 〻方向時速</p> <p>5月3日21時</p>



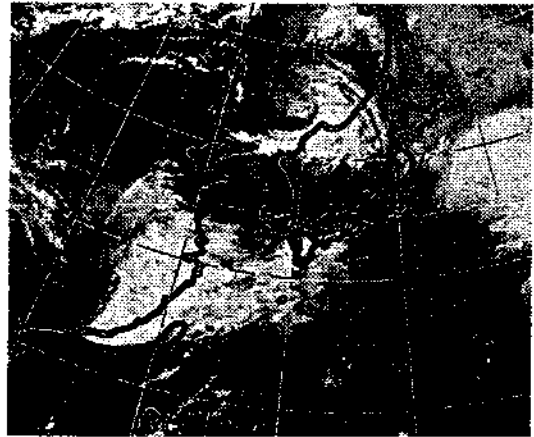
29日1時、気象衛星「ひまわり3号」撮影



29日1時、気象衛星「ひまわり3号」撮影



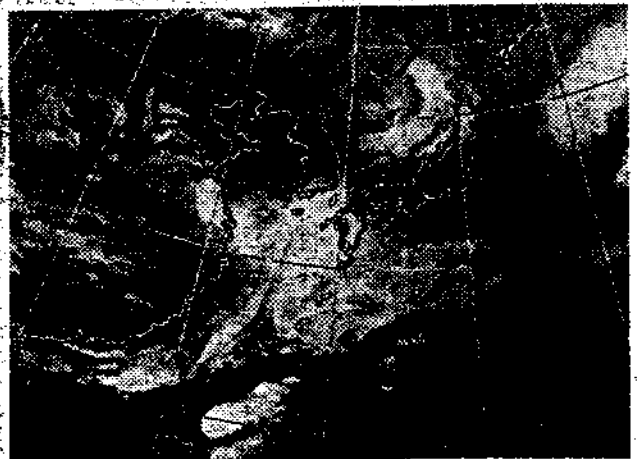
▲30日1時撮影



29日13時、気象衛星「ひまわり3号」撮影



1日1時、気象衛星「ひまわり3号」撮影



▲3日1時撮影



1日13時、気象衛星「ひまわり3号」撮影



4日1時、気象衛星「ひまわり3号」撮影